



日本離床学会
教育講座

講座コード R-12

臨床力UP

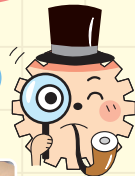
あなたのケア・リハビリを劇的に変える “見て見ぬふり”から抜け出す 回復期・在宅循環講座

～永続的離床生活を
送ってもらうために～

難易度

★★★★☆

あなたはもう
見ぬふりできない



日時：2020年 **11月15日(日) 10:00～16:10**
会場：インターネット生ライブ中継 **見逃し受講期間 11月16日(月)～11月29日(日)**
講師：徳田雅直先生（新横浜ハートクリニック 心臓リハビリテーション室）
対象：回復期や訪問看護・リハに携わる看護師、PT、OT、ST（左記以外でも受講可）
受講料：会員 9,800円 一般 12,800円（税込） **新入会 会費無料** ※定員になり次第締切り

循環を知らずして本当に安心できますか？

循環機能の評価はむずかしいので、できれば避けたいところ。回復期・在宅の現場では「いつも問題がないから大丈夫」と“見て見ぬふり”。でも、循環は安定に最も欠かせない要素なので、実は不安なのが本音ではないでしょうか。そこで、当会では回復期・在宅に必要な循環に関する知識をまとめた集中講座を開催。“いつもと違う”をいち早く察知し“血圧を測るだけ”の循環アセスメントからの脱却を目指します。“評価していないけど結果オーライ”が「評価して完璧にOK」に変わる学会自信の講座を受けて、あなたも漠然とした循環の不安を解消してみませんか？



いつかは知らなければならぬのだから“今”知ろう 臨床現場の疑問をもとに構築された循環7つのポイント

ユニークな
実演にも注目！

1. 回復期・生活期こそ重要

“いつもと違う” “何か変”と感じたら

- ① 何故いま必要!? 循環が在宅に必要な訳
- ② 急変の前ぶれを見逃すな! “放置”をせずにアセスメントしよう
- ③ いつまでもつの? “リハノミクス”の効果!? 長期的安定のためにすべきこと

2. これさえ押さえれば大丈夫

簡単穴うめドリルで覚える循環の基礎知識

- ① イメージで理解する基礎用語
- ② パターンで身に付く臨床検査

3. 薬は離床のパスポート

回復期・在宅に必要な最低限知っておくべき薬剤の知識

- ① 安定の礎は水分管理 In-Outにかかわる投薬をチェックしよう
- ② 脈の乱れは生活の乱れ 心拍リズムを左右する薬剤を知ろう
- ③ 自己中断が防ごう 回復期と在宅に必要な薬剤管理のコツ

4. 臨床力をあげよう! 実演で学ぶ循環アセスメント

- ① 回復期・在宅におけるフィジカルアセスメント
～知って得する循環の視診・触診・聴診・打診術～
- ② アセスメントの裏付け捜査3ステップ 尿量 体重 摂取量



Basic

5. アセスメント結果からどう動く?

明日からすぐに使える対応・対処法

- ① 受診させる? させない? ベテランしか知らない判断基準とは
- ② 私達が防波堤になる! 急変 “一歩手前でできることあれこれ

6. 長期的安定のみちしるべ 回復期や在宅だからできる循環器ケアの留意点

- ① しっかり取り組もう 血管系疾患の再発予防
- ② 原点回帰! 生活動作における心拍数の管理方法
- ③ 白黒の決着をつける! むくみに対する治療マッサージは功か罪か?



7. 循環お困り相談室 こんな時あなたならどうする?

- ① 活動範囲を広げたい!
低心機能患者におけるADLの決定方法とは?
- ② それって不定愁訴? 本当にあぶないサインの見分け方
～「肩こり」「めまい」「浮遊感」～



8. 症例から学ぶ

長期的安定を続けるコツとは

症例検討

「講師からのメッセージ」

一見、安定しているようにみえる患者さんですが、訴えが乏しい場合も多く、異常のキャッチが遅れてしまうと急変すること。それを防ぐためにも「前兆に気づく能力」が必要です。この講座では、評価に必要な7つのポイントに加え、実技でも技を身につけ、アセスメントの臨床センスを磨きます。時代はまさに回復期と在宅医療の充実に向かっています。永続的離床生活こそ、活動年齢を向上させ“らしく生きる”生活の柱となるものです。元気にずっと離床している生活を送ってもらうために、一緒に学びましょう!



※この講座は離床アドバイザー習得コースの理論コース1単位を取得できます。

受講方法

- ① ホームページよりオンライン登録
- ② 添付の申し込み用紙に記入の上、FAXまたは郵送
申し込み用紙はホームページからもダウンロードできます

日本離床学会

検索

お問い合わせ・お申込先

臨床を元気に! **日本離床学会**

〒102-0073 東京都千代田区九段北 1-2-12 ブラーレルビル 2F
ホームページ <https://www.rishou.org/>
TEL 03-3556-5585 FAX 03-6272-9683
Eメール jsea@rishou.org

